

2013 年度 ヤングサイコロジストプログラム

企画趣旨



YPP は、若手研究者の交流を目的とした、忌憚のない議論を行う研究会です。
今年度は個人の研究発表に加え、昨年度好評だったディスカッション企画を予定しています。
今回のディスカッションテーマは「良い研究を行うためのつながり」についてです。
参加者の方々には、研究を行うために必要な、研究者がもつ複数の「つながり」について、それぞれのつながりがどのように得られるか、そして、そのつながりを上手く活かしていくためにはどのようにしたら良いかをディスカッションしていただきます。本企画が、参加者の皆様にとって、将来有意義で独創的な研究を行っていく手掛かりになればと願っています。

日時・場所



2013 年 10 月 11 日 (金) 14:30 – 18:30

東京大学教育学部 第一会議室

本郷アクセスマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

教育学部のマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_09_01_j.html

※年次大会とは会場が異なるのでご注意ください。

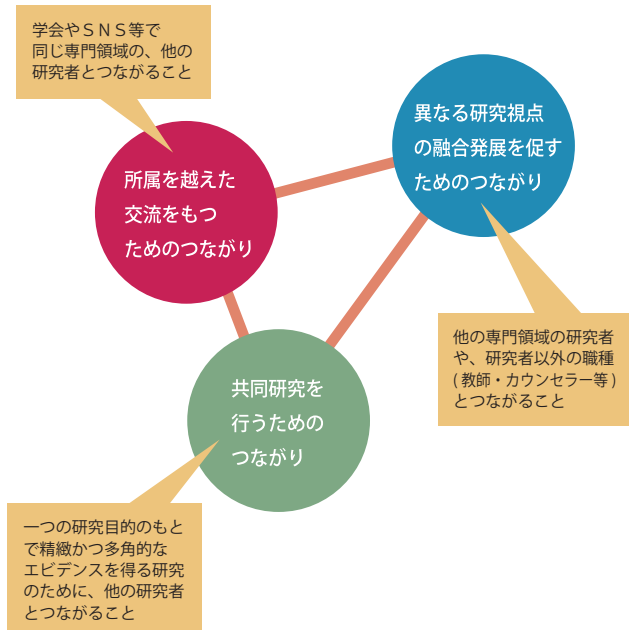
タイムスケジュール



時刻	内容
14:30 事前説明など	企画趣旨と前回 YPP までの流れ 自己紹介
15:00 ディスカッション (前半)	各「つながり」についてグループごとに議論 グループの代表者が総括を報告し、全体で共有
15:40 ディスカッション (後半)	各「つながり」について再びグループごとに議論 先ほどと同様に、意見を全体で共有
16:10 休憩・移動	
16:30 研究紹介	一般発表 3 名、ショート発表 6 名
18:30	片づけ・懇親会会場へ移動

ディスカッション企画

「良い研究」を行うための「つながり」とは？



研究は、ただ一人の思い込みだけで成り立つものではなく、先達の研究結果を参照したり、他の研究領域の視点や実践的な視点を取り入れたり、多人数による研究への取り組みがなされたりすることによって、より洗練されていきます。言い換えると、良い研究には、人と人との「つながり」が不可欠です。

そこで、今回の企画では左記のグループテーマに分かれて、つながりを研究に活かしていくための方法についてディスカッションを行います。日頃から問題意識を抱えてきた方も、今まで意識したことがなかった方も、ディスカッションを通して他の参加者と共に考えることで、新たな刺激や指針が得られればと考えております。本企画が、皆様の将来の研究生活のお役に立てば幸いです。

研究発表企画



通常の学会・研究会よりもフランクに、

「研究についての疑問に対して、参加者全員で考える」ような雰囲気になりたいと思っています。

今年度は、一般発表（発表20分、質疑応答10分）とショート発表（発表10分、質疑応答5分）

を取り混ぜ、二部屋に分かれてセッションA、Bを同時並行で実施します。

※いずれのセッションに参加するかは、前半開始前と、後半開始前の休憩中に選べます。

セッションA-1（第一会議室）

16:30 - 17:15

「大学生の希死念慮に関する研究」

稲場夢有

（筑波大学大学院 人間総合科学研究科）

キーワード：希死念慮、レジリエンス

生きがい感、自己イメージ

「うつ病に対する

スティグマ的認知の検討（研究計画）」

榎原 潤

（東京大学大学院 教育学研究科）

キーワード：うつ病、スティグマ

潜在連合テスト、援助要請

セッションB-1（361教室）

16:30 - 17:15

「解釈の抽象度に応じた

対人認知の変動メカニズム」

伊藤 言

（東京大学大学院人文社会系研究科）

キーワード：解釈レベル、共感

心理的距離、心の理論

「幼児の仲間入りに関するエピソード研究」

水津幸恵

（香川大学大学院教育学研究科）

キーワード：4歳児、仲間入り

二次的効果、エピソード分析

休憩後、後半へ。

セッション A-2 (第一会議室)

17:30 - 18:15

「ストレス経験時の情動調整経験が
情動知能の向上に及ぼす効果」

野崎優樹

(京都大学大学院教育学研究科)

キーワード：情動知能、情動調整
ストレス、コーピング

「暗記型 e ラーニングにおける
学習者同士のつながる仕組みが
学習者の学習量推移に与える効果」

澤山郁夫

(岡山大学大学院教育学研究科)

キーワード：e ラーニング、自己調整学習
グループ学習、動機づけ、学習量

※枠のフチの四角い切れ込みの数と

発表のタイプは対応しています。

× 1 = ショート発表 (15分)

× 2 = 一般発表 (30分)

セッション B-2 (361 教室)

17:30 - 18:15

「2 項目自尊感情尺度の作成と妥当化」

箕浦 有希久

(関西学院大学大学院文学研究科)

キーワード：自尊感情、尺度構成、質問紙法
心理測定、主観的 well-being

「Implicit Association Test の応用可能性
—拙研究の紹介—」

藤井 勉

(誠信女子大学校 (韓国) 人文学部)

キーワード：Implicit Association Test (IAT)
潜在的態度、潜在的自己概念

「就職活動における不公平が引き起こす
求職者の反応」

伊藤健彦

(東京大学大学院人文社会系研究科)

キーワード：不公平、格差、政策への態度
外集団への態度

懇 親 会



研究会終了後、会場近くのお店を準備しています。ぜひご参加ください。

「炭火居酒屋 ふくまめ」 <http://r.gnavi.co.jp/g011006/>

企画

川本哲也 (東京大学)・上原依子 (大阪大学)・田中孝 (大阪大学)・箕浦有希久 (関西学院大学)

主催

日本パーソナリティ心理学会広報委員会 (大谷和大・蔵永瞳・古村健太郎・徳永侑子)

YPP2013 の開催に際して、日本パーソナリティ心理学会第 22 回大会準備委員会より、多大なご支援・ご協力を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。